

神獣と飛行機械のファンタジー

2025 — 2026
11.6[木] 3.22[日]



鎧をまとった龍 ～装甲列車～(部分)
2019年



ペンギン博士
2025年

展示室以外にも
展示されているかも！

田崎太郎展

たざき たろう

茨城県陶芸美術館 テーマ展
会場：2階第2展示室



びしゃもん
毘舍羅門猫神(部分)
2021年
茨城県陶芸美術館蔵

茨城県陶芸美術館 テーマ展「田崎太郎展」

主催：茨城県陶芸美術館

会場：茨城県陶芸美術館 2階第2展示室

休館日：毎週月曜日(ただし、11月24日、2026年1月12日、
2月23日は開館) 11月25日(火)、12月29日(月)～2026年
1月1日(木)、1月13日(火)、2月24日(火)

開館時間：9時30分～17時(入場は16時30分まで)

観覧料：一般360(290)円 70歳以上180(140)円 高校生
等290(240)円 小中学生180(150)円

()内は20名以上の団体料金。※身体障害者手帳、療育
手帳、精神障害者保健福祉手帳または
指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添
いの方(ただし、1人につき1人まで)は無料。

※土曜日は高校生以下無料。(ただし、12月27日、1月3日を
除く。)

※茨城県民の日[11月13日(木)]は全ての方無料。

企画展開催期間中は企画展観覧券にて本展もご覧いた
だけます。

所蔵の表記のないものはすべて個人蔵

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 笠間市笠間2345[笠間芸術の森公園内]
Tel.0296-70-0011 Fax.0296-70-0012



展覧会詳細
および
美術館の
アクセスは
こちらを
ご覧ください

威嚇する黒猫 2024年

40点を超える
展示数！



方位の4神(青龍・朱雀・白虎・玄武)が描かれた猫神 2025年



宇宙戦艦 2025年

田崎太郎展

たさき たるう

展示室を超えて広がる、田崎太郎の世界観!!
猫神さまなどの神獣から、空を夢見るペンギン博士の飛行機械まで。
笠間を拠点に25年、国内外で活躍する陶芸家・田崎太郎(1970-)。新作を含む多彩な作品を通して、その独自の造形と物語の軌跡をたどります。

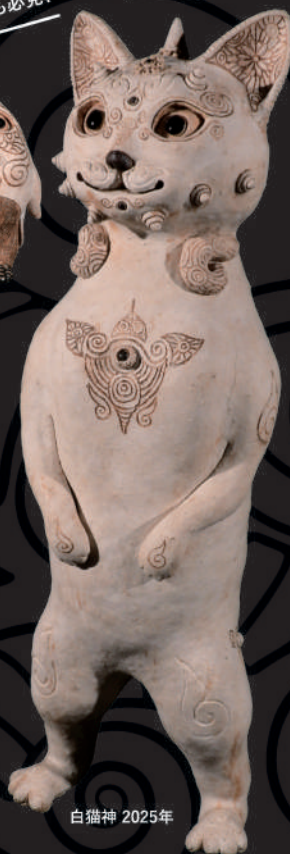
作品それぞれに
込めたストーリーも必見!

田崎ワールド全開!



多面魔除け猫神 2025年

造船所 2011年



白猫神 2025年

田崎太郎/TASAKI Taro

- 1970年 福岡県に生まれる
- 2012年 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(新潟県)
- 2014, 2017, 2019, 2020年 個展(銀座三越美術ギャラリー・東京都)
- 2016~2025年 アートフェア東京(東京国際フォーラム・東京都)
- 2018年 スペイン・バルセロナ大学にて展示後、日本国総領事館に作品が収蔵される
- 2019年 「いきもの狂騒曲 - 陶芸フィギュアの現在 -」(茨城県陶芸美術館)
- 2019年 皇室の行幸啓に関する記録本「行幸啓誌(茨城県発行)」に作品が掲載
- 2021年 日本遺産認定記念「かさましこ〜兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”〜」展(茨城県陶芸美術館)
- 2021年 東美特別展(彩鳳堂画廊・東京美術倶楽部・東京都)
- 2021年 個展「田崎太郎展」(靖山画廊・東京都)
- 2022年 個展「陶人形 田崎太郎展」(常陽史料館・茨城県)
- 2022~2024年 アート台北(台北世界貿易センター・台湾)
- 2023年 「不思議ワールド うつろ舟」(常陽史料館・茨城県)
- 2024年 「猫を愛でたい」(茨城県天心記念五浦美術館)
- 2025年 個展「田崎太郎作陶展」(日本橋三越特選画廊・東京都)
- 2025年 東京現代(ミヅアートギャラリー・パシフィコ横浜・神奈川県)

25年前、
笠間に築窯して
初めて作った神様

この日以外にも
開催されるかも!!
SNSも要チェック

所蔵の表記のないものはすべて個人蔵

【関連行事】

- ◎田崎太郎氏によるアーティストトーク
- ・聞き手: 岩井基生(当館学芸員)
- ・日時: 11月23日(日)13時30分から
- ・会場: 当館2階 第2展示室
- ・参加費: 無料(要テーマ展観覧料)

【同時開催企画展】

「THE HEADLINERS 2025
- 爆誕! セラミック・スーパーノヴァ -
11月30日(日)まで



TOUBIKASAMA

